

講師紹介

山本 久雄(やまもと ひさお)



専門分野

- 実務家(不動産・住宅・介護・介護予防)
- 空き家活用及び新築シェアハウス開業支援
- 地方創生支援(空き家活用・地域雇用創出・移住～定住支援)

プロフィール

一般社団法人日本シェアハウス協会 会長(代表理事)
シェアプロデュース株式会社 代表取締役

1974年北海道工業大学建築学科卒業後、三井不動産入社。以後子会社の三井ホーム時代を含め約30年間、都市開発及び各地の住宅開発に従事。
2000年介護保険制度開始と同時に退社し**我国初**の介護専門コンサルタント会社を起業し、民間ならではの新たな発想で様々な介護事業及び介護予防事業のモデルを開発しそれが現在普及している様々な高齢者事業の元になっています。
2008年にまだ未成熟なシェアハウス業界に転進し、シェアハウス開業を総合支援するシェアプロデュース株式会社とシェアハウス業界初の全国組織の法人団体として一般社団法人日本シェアハウス協会を設立。空き家活用では**我国 NO1 の実績**から現在、国土交通省の**住宅セーフティネット制度**の普及支援や各地の自治体や建設・不動産等様々な業界からの相談に協力し、益々進む超高齢社会の**地域活性化事業**の応援を行っています。

著書・その他

『介護予防の時代 これからのデイサービス』筒井書房

『これからのシェアハウスビジネス』住宅新報社、三浦展氏と共著。

「週間東洋経済」2014年3/1号『ひとり生きる 単身社会のリアル』内

「週刊東洋経済」2013年12/14号『介護ショック 2015年から介護保険増でどうするお金と住まい』内

他、出筆多数

各地の「講演及び研修」テーマ例

- これからの不動産「再生・賃貸・分譲・投資」事業
 - これからの「空き家・空き室」活用の不動産最新ビジネス
 - 「空き家・空き室」活用で地域の活性化に貢献
 - サービス付き高齢者住宅の次は「多世代共生型賃貸」の時代
 - 増税時代！相続対策の切り札は「中古住宅」の活用
 - 不動産事業の様々な「新モデル」誕生！
 - 今後の大市場は「アクティブシニア向け賃貸住宅」だ！
 - 建設費高騰の時代、益々「高収益賃貸事業」が重要
 - 土地有効活用の新手法「シェアハウス」と「シェアホテルズ」
 - これからの「地域オンリーワン戦略」とは
 - 不動産流通(仲介)ビジネスの新発想！
 - これからは「健康支援」と「雇用支援」が大きなビジネスへ
 - 日本の元気なシニアよ！地域の為に立ち上がろう！
 - 空室解消の新手法「副収入付賃貸」とは
 - これから始まる「地方創生」を地域連携で取り組む方法
- その他多数